

豊山会 山行

2026 年 2 月 7 日（土）現在

実施日 2027 年 1 月 14 日（木曜日）

場所： 天覧山（標高：約 197m）～ 宮沢湖（標高：約 113m）
距離： 約 7 km
時間： 約 2 時間（休息は別）
標高差：約 90m

集合場所： 09:00 に西武池袋線飯能駅（北口）（標高：約 107m）

行程

飯能駅北口 →（10 分）→ 広小路 →（7 分）→ 飯能河原 →（15 分）→ 天覧山登り口（能仁寺横）→（10 分）→ 天覧山山頂 →（奥武蔵自然歩道）(13 分) → 車道（ここを左折）→（8 分）→（中山西の信号で T 字路を渡る）奥武蔵自然歩道入口 →（8 分）→ 青楓の森（高麗峠・宮沢湖分岐）（ここで奥武蔵自然歩道から外れる）→（10 分）→ 道路下（くぐって左折）→（10 分）→ 宮沢湖・飯能駅分岐 →（32 分）→ 宮沢湖（Metsa Village）
（注：上記の歩行分数は全て“約”）

昼食：宮澤湖畔で、弁当またはレストラン（複数あり）。
ほかに、宮沢湖温泉・喜楽里別邸という日帰り温泉施設があるので、ここで風呂に入り食事をするのもよい。



宮沢湖から飯能駅北口へのバス			
12	22	47	
13	00	22	45
14	12	30	40
15	15	35	50
16	05	30	50
17	15	40	

山頂直下。すぐ展望台に登れるコースと岩場を通るコースに分かれる。
岩場コースには、十六羅漢の石仏がある。

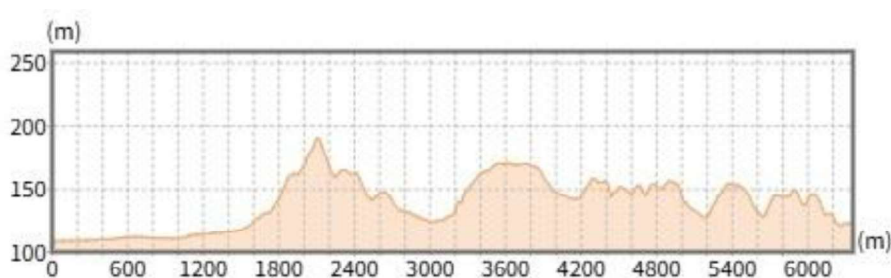
天覧山：標高は 197m と低いですが、眼下には飯能市街が見渡せる。春の桜、ツツジ、秋の紅葉が美しく、奥武蔵自然歩道の出発点。十六羅漢の石仏は徳川五代将軍綱吉の生母(桂昌院)が綱吉の病氣平癒の祈禱を行なった能仁寺へ感謝のしるしとして寄進したもの。この十六羅漢の石仏が寄進されたことから「羅漢山」と呼ばれていたが、1883 年に明治天皇が登頂して「天覧山」との名称で呼ぶようになり、1922 年に埼玉県における指定名勝第 1 号にもなった。

奥武蔵自然歩道：天覧山・多峯主山～巾着田～日和田山を経て鎌北湖までの総延長 11km のハイキングコース。コースは全般に整備されており、歩きやすい。スニーカーでも大丈夫かと思うが、木の根が這っていたり、急斜面もあるのでしっかりとした登山向けシューズがお勧め。分かれ道には行き先表示が完備されており、迷うことはまず無い。最高点の高麗峠でも 177m と標高は低いながら、コースは起伏に富んでおり、多くのトレイルランニング愛好者が走っている。

今回の豊山会では、青櫛の森（高麗峠・宮沢湖分岐）で、高麗峠方面には行かず奥武蔵自然歩道と別れて右側の道を宮沢湖方面に行くことになる。中山西の奥武蔵自然歩道入口から宮沢湖までは適度にアップダウンの道が続く。

宮沢湖：入間郡地域の用水不足を解消するために、1941 年に竣工した宮沢溜池ダムによってできた人造湖。ダムの堤高は 18.5 メートル、堤頂長は 240 メートル。湖の周囲は約 2 キロメートルで、貯水量は 95 万立方メートル。湖水は飯能市小瀬戸付近を流れる入間川より取水して、トンネルを用いて毎秒 1.3 立方メートル導水している。この湖を源流として小畔川や、入間台地西部を灌漑する入間北部第二用水路が流れている。またゴルフ場の用水として使われている。

北欧のライフスタイル体験施設「メッツァビレッジ」（飲食施設あり）と、ムーミンの物語を主題としたテーマパーク「ムーミンバレーパーク」（ただし、このパークの入場料は 4,300 円と高い）の 2 つのゾーンがある。これらを総称して「metsä（メッツァ）」と呼んでいる。



飯能駅から約3500歩(約40分)の山登り

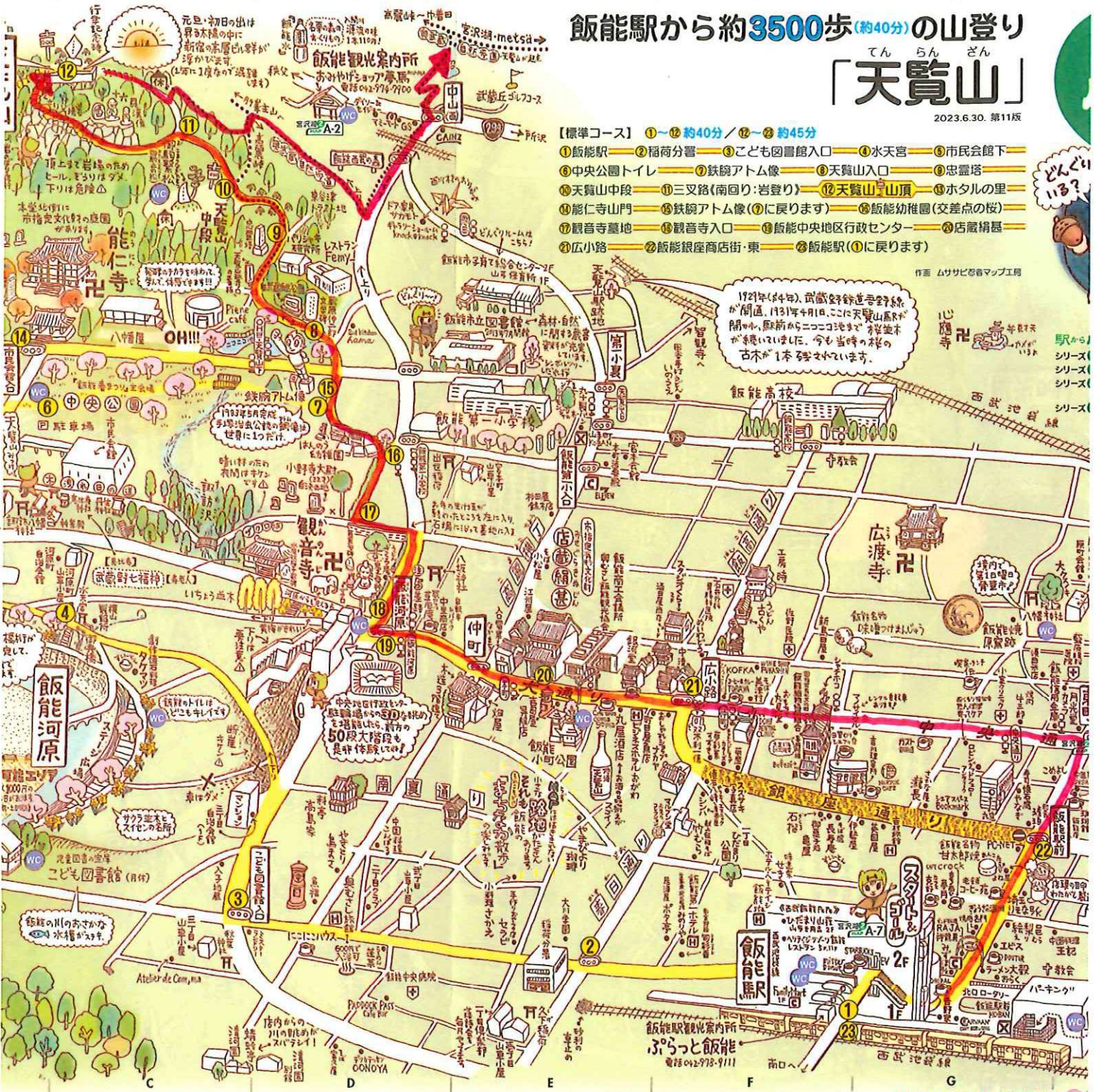
「天覧山」

2023.6.30. 第11版

【標準コース】 ①～⑫ 約40分 / ⑬～⑳ 約45分

- ①飯能駅 ②稲荷分署 ③こども図書館入口 ④水天宮 ⑤市民会館下
- ⑥中央公園トイレ ⑦鉄砲アトム像 ⑧天覧山入口 ⑨忠霊塔
- ⑩天覧山中段 ⑪三叉路(南回り:岩登り) ⑫天覧山・山頂 ⑬ホテルの里
- ⑭能仁寺山門 ⑮鉄砲アトム像(⑦に戻ります) ⑯飯能幼稚園(交差点の桜)
- ⑰観音寺墓地 ⑱観音寺入口 ⑲飯能中央地区行政センター ⑳店蔵桐屋
- ㉑広小路 ㉒飯能銀座商店街・東 ㉓飯能駅(①に戻ります)

作画 ミササビ造形マップ工房



★ごみの持ち帰りにご協力感謝します! ★トイレは(協力店)でお気軽に! 飯能はいつもどこかが面白い!

駅からMAP

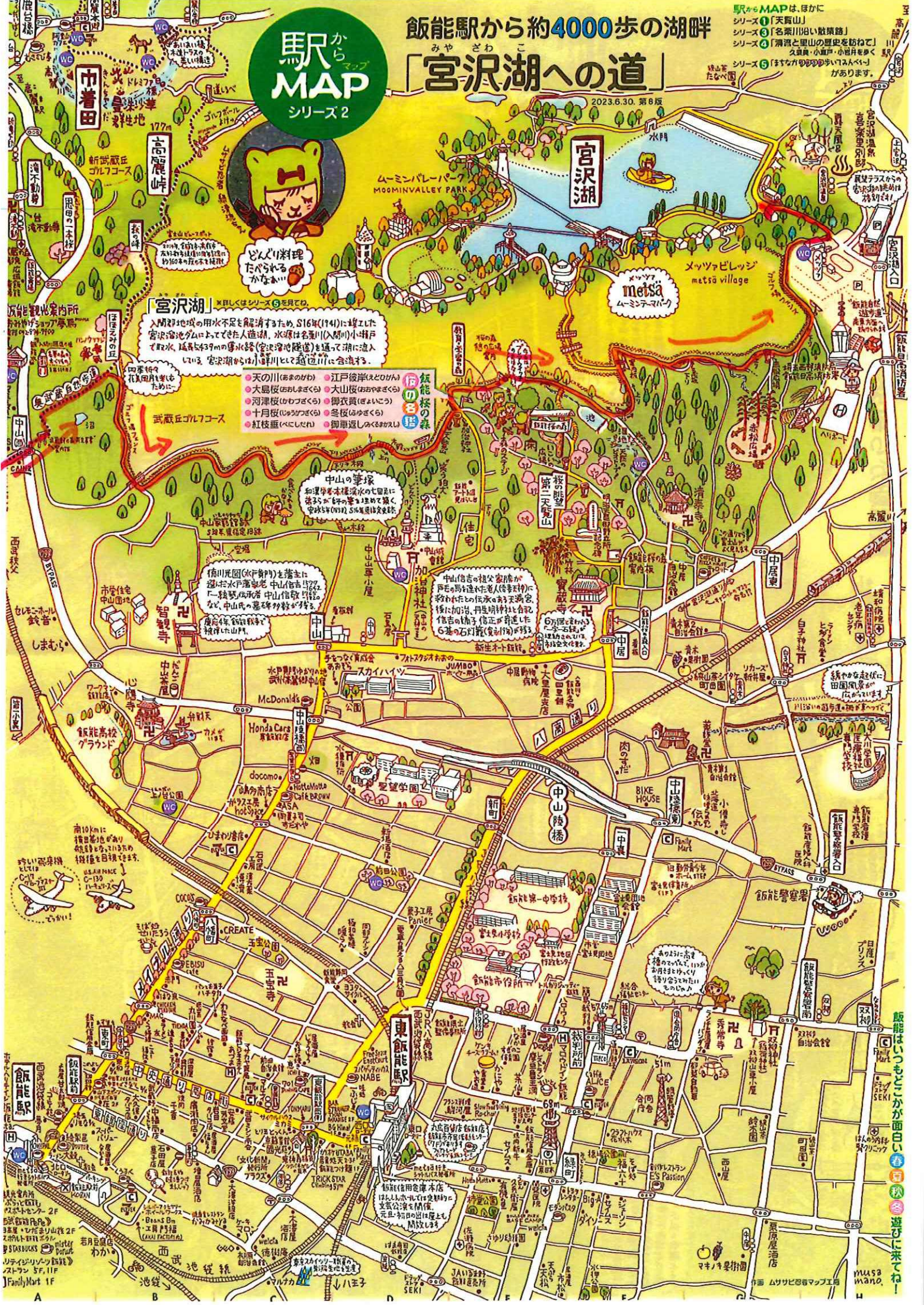
シリーズ2

飯能駅から約4000歩の湖畔

「宮沢湖への道」

2023.6.30. 第8版

駅からMAPは、ほかに
シリーズ①「天竺山」
シリーズ②「名栗川沿いの歴史を訪ねて」
シリーズ③「清瀬と里山の歴史を訪ねて」
シリーズ④「久良美・小瀬戸・小瀬戸を歩く」
シリーズ⑤「まなかながわの歴史を訪ねて」
があります。



「宮沢湖」 ※詳しくはシリーズ③を参照。
入湖地帯の用水不足を解消するため、S16年(1941)に竣工した宮沢湖ダムによってできた人造湖。水源は名栗川(入湖)小瀬戸で取水、延長379mの導水路(宮沢湖導水路)を経て湖に流入している。宮沢湖からは、湖川にて越後川に合流する。

どんぶり料理
たべろ
かな

- 天の川(あまのがわ) ● 江戸彼岸(えどがは)
- 大島坂(おおしまざか) ● 大山坂(おやまざか)
- 河津坂(かわづざか) ● 御衣貢(ごえいこう)
- 十月坂(じゅうがつざか) ● 冬坂(ふゆざか)
- 紅枝垂(べにしだれ) ● 御車返し(ごくるがえし)

中山の掌塚
和漢学者本橋漢水の墓に
あづかにも平の墓もあつて
寛政5年(1793) 58歳没(美濃)

南川尻(水戸門)を藩主に
選んだ水戸藩家老 中山信吉(1722-
1802)の墓所。中山信吉の
墓所、中山氏の墓所が数多くある。

中山信吉の祖父 家康が
声もろくにない老人(信吉の父)に
移されたといふ伝承がある。家康
は、後に加治、丹生明神に合祀
信吉の墓所、信吉が建てた
6基の石灯籠(寛政17)が残り

6万石の
中山信吉の
墓所、信吉が建てた
6基の石灯籠(寛政17)が残り

新橋やなごり
田園風景が
広がります
川沿いの散歩道がおすすめです

ありふれた高層
ビルで、いか
かおもしろい
おもしろい
おもしろい

飯能はいつもどこかが面白い
春 夏 秋 冬 遊びに来てね！